

◆教育目標

校風「ゆずりの心」を大切にしたい
心ゆたかな たくましい子ども

- 1 じょうぶな体
- 2 思いやりの心
- 3 考える力
- 4 やりぬく力

◆ 目指す学校像

- ・児童が毎日通いたくなる学校
- ・保護者が安心して通わせることのできる学校
- ・地域の誇りとなる学校
- ・教職員が職務にやりがいを感じ、互いに資質を高め合うことのできる学校

【児童の様子】

・明るく素直な児童が多く、上級生が下級生を気遣うなど、学年を超えた関わりがみられる。
・基礎的な知識・技能とともに、それを活用する思考力・判断力・表現力を高める必要がある。

【保護者の願い】

・学校教育に対して協力的な保護者が多い。PTA活動については年々見直しが行われている中、負担感につながらない運営方法が工夫されている。
・地域の中学校への進学を希望する家庭が多い。

【地域の様子】

・学校教育への支援体制が充実している。情報発信の仕方を工夫し、幅広い世代から協力が得られるよう努める必要がある。

◆ 指導の重点

1 徳 ～ 「豊かな心（ゆずりの心）」の育成

- 周りの人も、自分も大切にする児童の育成
- 年齢を超えた関わりを通して育む「ゆずりの心」
- 地域を愛し、地域に誇りをもつ児童の育成

- (1) 児童一人一人のよさを認め、伸ばす教師の指導、支援、励まし
・「やればできる」という自己肯定感
- (2) 教師が範を示しながら育てる児童の人権感覚
・日々の言葉遣いや呼名の仕方、印刷物や掲示物への配慮など
- (3) 道徳教育の推進
・地域とともに考える道徳授業地区公開講座の実施
- (4) キャリア・パスポートの活用
・節目ごとの目標確認、振り返りによる自己理解の促進
- (5) 挨拶の励行
・気持ちのよい声で、相手の顔を見て、自分から
- (6) 行事を通して受け継ぐ、伝統と「ゆずりの心」
・運動会やゆずりは集会、学習発表会など
・協力し、やり遂げることによる充実感、達成感

2 知 ～ 確かな学力を基盤とした「生きる力」の育成

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- 思考力・判断力・表現力の育成

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
・タブレット端末の活用（毎日持ち帰り）
・保護者と連携した家庭学習
- (2) 東京都「デジタルを活用したこれからの学び」推進地区実践校及び調布市教育委員会研究推進校2年次の研究を通じたデジタル利活用の在り方の追究及び成果発表
- (3) 教科担任制の充実
・3年生以上で実施。学年の実態により、教科数、時間数の拡大を検討
・教科担任制加配により、教員1名増。高学年体育を担当。運動に親しむ児童を増やし、体力向上につなげる。
- (4) 読書活動の推進
・学校司書との連携
・読書旬間の取組（6月、11月、2月）
・m i m iによる読み聞かせ
・「としょファイル」の活用

3 体 ～ 「健やかな体」の育成

- 恵まれた地域環境を生かし、すすんで運動に親しもうとする児童の育成
- 自分の体について知り、健康について考える児童の育成

- (1) 体育的活動の充実
・体力テストの結果分析、体育活動への活用
・全校で推進する休み時間の外遊び
・「ちょこプラ1調布」の取組による運動の日常化
・ダブルダッチ体験
・出前授業、体験授業などを活用したトップ・アスリートとの交流
・スポーツ推進委員と連携したニュースポーツ体験の充実
- (2) 養護教諭、栄養士も関わる保健指導、食育指導の充実
・発育測定結果に基づく成長への気付き
・児童が自ら気を付けるけがや病気の予防
・体験的活動を重視した食育指導
・給食食材に関する知的好奇心、食べ物への感謝
- (3) 基本的な感染症、熱中症予防対策の徹底
・児童が自ら意識して 学校で、家庭で
・W B G T指数を毎日確認して活動の実施を判断（4～9月）

◎ 一人一人のよさを伸ばす特別支援教育の充実

- (1) 校内委員会のさらなる充実による支援策の具体化及び関係機関との連携強化
・個別の教育支援計画、個別指導計画の作成・活用
・スクール・ソーシャル・ワーカー、教育相談所、医療機関など
- (2) 校内支援体制の充実
・スクールサポーター、特別支援教室専門員、学級支援員など
・算数個別指導
- (3) 全教職員による誰もが分かりやすい授業の工夫
・ユニバーサル・デザインの考え方に基づく教室環境の整備
- (4) 校内通級教室拠点校としての指導方針の共通理解、情報共有、巡回校との連携

◎ 安全・安心な学校づくり

- (1) 学校いじめ防止対策基本方針に基づいた対応の徹底
・小さな兆候を見逃さないいじめの未然防止、早期発見・解決
- (2) 児童が不安や悩みを相談しやすい体制整備
・スクールカウンセラーによる5年生全員面接
・学期に1回実施する、いじめに関するアンケート
・タブレットを用いて毎月行う「心の健康観察」
・児童が相談できる大人を増やす 副担任制の活用
- (3) 家庭と連携しながら進める情報モラル教育
- (4) 全職員が確実に行う食物アレルギー対応
・「調布市立学校 食物アレルギー対応マニュアル」の徹底
- (5) 関係機関と連携した交通安全教室、セーフティ教室などの実施
- (6) 施設設備の安全点検の強化
- (7) メールシステム「すぐる」の活用 おたよりのデータ配信
- (8) 地域の各団体と連携した学校内外における児童の安全の見守り

◎ その他

- (1) コミュニティ・スクール導入2年次としての学校運営協議会の充実及び地域学校協働本部との連携強化
- (2) 体育館大規模改修に伴う学習計画、行事計画などの検討
・体育科を中心とした年間指導計画の見直し
・朝会、集会、クラブ活動などへの配慮
・行事の変更などについての丁寧な説明
・体育館使用団体、地域行事関係者などとの連絡・調整
- (3) 校務支援システムの活用
・校務の効率化
・会議時間の短縮